

EV路上カーシェアステーションの導入

今後のモビリティのシェアリング社会に対応するためには、バスのような大きな交通拠点に加えて、道路空間を活用しながら、身近な場所への「小さな交通拠点」をあわせて整備する必要があります。全国では、駅周辺の道路の路側に、カーシェアステーションを設置する実験が行われています。近畿地方整備局では、これを環境の観点で進化させた「EVカーシェアステーション」の取組みについて、官民連携での検討を進めます。

EV路上カーシェアリング

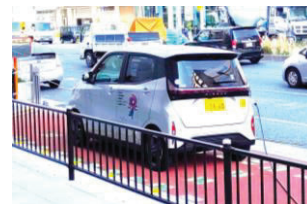
大阪



▲路上カーシェアステーション
(東京都港区新橋)



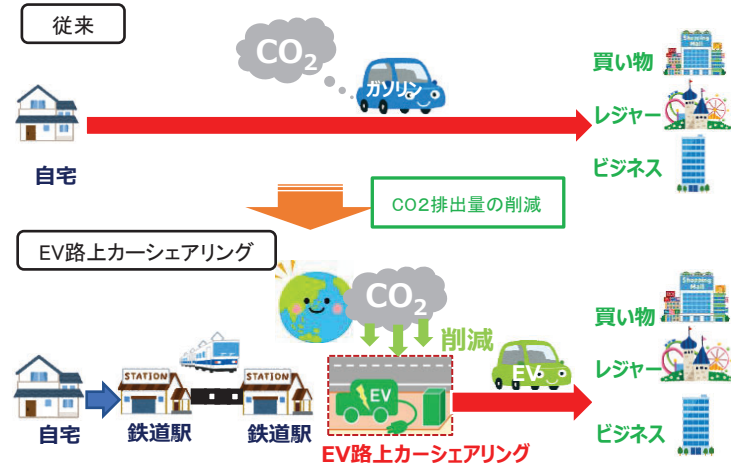
▲路上EV充電機器 (横浜市)



▲路上EVカーシェアステーション
(大阪府福島区)



レール×EV路上カーシェア



- 令和6年10月から社会実験を開始。
- JR大阪駅など鉄道周辺の国道の路上にカーシェアステーションを設置し、鉄道とEVカーシェアの組み合わせによるCO₂排出の削減や交通利便性向上、災害時の有効活用等の検証を進めています。